

第15回小児急性疾患学講座（寄付講座）市民講座の開催にあたって

福山市保健所長
田中 知徳

第15回小児急性疾患学講座（寄付講座）市民講座の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

本市におきまして、2013年（平成25年）4月から、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科に、小児急性疾患学講座（寄付講座）を開設し、毎年、小児医療に係る市民講座を実施しているところです。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる動画配信をさせていただきます。

本講座は、2部構成となっており、第1部は、津下 充先生による「子どもの新型コロナウイルス感染症」で、小児における新型コロナウイルス感染症の特徴や感染経路、家庭内感染の予防の重要性などについてご講演をいただいています。

また、第2部では、鷲尾 洋介先生による、「乳幼児期の成長発達と予防接種」で、乳幼児健診や予防接種の重要性などについての講演をいただいております。多くの方に、ご視聴いただき、今後の子育てや感染防止対策に役立てていただきたいと思います。

さて、2021年（令和3年）4月から、福山市民病院に、入院治療を要する小児重症患者を、365日24時間受入を行う「小児救急医療拠点病院」が設置される予定となっています。この寄付講座を開設する以前の小児救急医療体制は、救急患者の受入先がない日があるなど、脆弱なものがありました。そのため、持続可能な小児救急医療体制の整備は、全国的に小児科医不足が叫ばれる中においても、本市の長年の課題であり、この度の「小児救急医療拠点病院」の開設に向け、ご尽力をいただきました岡山大学の先生方、そして、これまで、小児救急を支えていただきました地区医師会、基幹病院の先生方には、改めて感謝を申し上げます。本市としては、引き続き、皆様方とより一層の連携を図り、小児救急医療体制の充実に取り組んでまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今、新型コロナウイルス感染症の影響により、「受診控」が社会的な問題となっています。そのため、市民の皆様には、感染防止対策はもとより、このような状況下においても、お子さまの定期的な健康診査や、ワクチン等の予防接種をお忘れにならず、また、お子さまに、体調の変化があった場合などは、早めにかかりつけ医に相談するなど、適正受診に努めていただきますようお願いいたします。

最後に、本講座の開催にあたり、ご講演を戴きました、鷲尾 洋介先生、津下 充先生に、改めてお礼を申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。